

## 報告書のとりまとめに向けて(案)

本事業の報告書については、教育委員会・学校関係者を読者として想定し、「同様のモデルを実施したい・実施できる」と思っただけのよう、とりまとめる。

このため、以下の項目について、来年2月15日までにプロジェクト実施団体から報告を受け、これをもとに来年3月末までに報告書を編集・作成することとしたい。

### 【項目(案)】

#### 1 モデルの名称

(例)プログラミング教育〇〇メソッド/〇〇式/〇〇モデルなど

#### 2 モデルの内容

①メンターの募集・研修、②児童生徒の募集・学習について、いつ、どこで、だれが、だれに、なにを、なぜ、どのように行ったのか、現場で役立つと考えられる具体的な工夫・知恵を含め、他地域でも再現可能なように記載。

#### 3 モデルの訴求点(アピールポイント)

○モデルのねらい・意義

○モデル実施により得られた成果

受講した児童生徒、担当したメンターの変化、保護者、実施校の校長・教員・教育委員会、地域の反応を、アンケートの分析や、把握したエピソード等に基づき具体的に記載。

#### 4 モデルの改善点

実施に当たって直面した困難や把握した反省点について、改善案を含め具体的に記載。

#### 5 モデルの実施コスト

実証校の通信・端末環境を記載するとともに、機材・消耗品・交通費など実費ベースで、児童生徒1人当たりの実施コストを試算。

#### 6 モデルの将来計画

実施地域での継続、他地域への展開を含め、モデルの発展・普及に向けた計画を記載。

#### 7 参考資料

作成したテキスト・プリント、メンター・児童生徒の募集文書、家庭へのお知らせ、アンケート結果、メンター・児童生徒の感想等を添付。

※ 全体を通じ、写真、図表を積極的に用いること、専門用語には解説を付すなど、読者の視点から、わかりやすいものとする。